

平成30年度 認知症地域支援推進員 活動報告書（大阪市大正区）

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

- ・認知症学習会、講演の実施。 計6回
地域住民向けの学習会・講演。
- ・区社会福祉協議会が開催している食事サービスや、地域の民生委員会等へ参加し、地域住民への普及啓発活動を随時行う。
- ・区キャラバンメイト連絡会へ参加し、情報共有と今後の普及啓発に関する検討を行う。

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

- ・平成30年11月 区の認知症高齢者支援ネットワーク連絡会主催の事例検討会参加。
医療・介護連携に関する研修であり、ケアマネジャー・訪問、通所サービス職員等、福祉職が主な参加者。
- ・平成30年3月 区の認知症高齢者支援ネットワーク連絡会主催の映画上映会へ参加。
レビー小体型認知症のドキュメンタリー映画『妻の病』を上映。
当日は、昨年度より多く、定員以上の区民が来場された。
- ・認知症による困難事例への支援
ケアマネジャーから相談を受け、医療との連携支援や助言など後方支援を行う。

III 若年性認知症の人やその家族への支援

若年性認知症 相談支援 3件

- ・平成29年度より、長期間に渡り支援を行ったケースがあった。認知症初期集中支援チームの協力、若年性認知症コーディネーターの助言を受けながら、各種制度活用や支援を行う。
 - ①認知症専門医
 - ②大阪市認知症相談支援サポート事業
 - ③認知症疾患医療センター
 - ④成年後見制度（市長申立）
 - ⑤訪問看護（医療）
 - ⑥障がい福祉サービス
- ・行動心理症状に対し、地域包括支援センター・区保健福祉課・警察等との連絡、相談を行う。

IV 認知症の人の介護者への支援

- ・平成30年7月 認知症の人の家族を対象とした認知症カフェへの参加。 1件

VI 会議や研修等の実施及び参画

- ・区の認知症施策推進会議、認知症高齢者支援ネットワーク連絡会
- ・認知症の人の支援に関する個別の地域ケア会議・カンファレンスへの参加。
- ・平成31年1月 認知症強化型地域包括支援センター主催の事例検討会に参加。
若年性認知症の事例について、講師とともに支援の流れを解説。